



ロータリー： 変化をもたらす

太田ロータリークラブ
WEEKLY REPORT

ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

No. 2380
2017年
9月21日(木)
第2956回 例会
ホームページ <http://www.ota-rc.org/>

9月21日(木) 例会報告

***** ようこそ来訪 *****

元群馬県教育委員会委員長 井上 恵津子 様

◆会長挨拶



みなさんこんにちは。

去る9月に開催されました「田中ガバナー公式合同例会」には大勢の会員の参加をいただき、盛会のうちに終了することが出来ました。ありのままの例会をみていただき、ご指導をいただきましたかったと感じました。

反面、合同例会の準備のために5クラブの会長幹事が5回も集まったことは、今後の第4分

区A5クラブの運営に大いに役立つことになったと思います。

蟬が一気にいなくなって蜻蛉が群れて飛ぶような季節になってしまいました。

台風の季節として210日、220日と言われておりますが、近年では9月16日と9月29日が台風の特異日と言われております。

9月16日には昭和22年に群馬県に大被害を及ぼしたカスリーン台風、昭和23年のアイオン台風、昭和36年の第二室戸台風。

9月26日には昭和29年洞爺丸台風、昭和33年狩野川台風、昭和34年の伊勢湾台風があります。

日本が占領されていた時代の台風の名前は女性の名前が付けられておりました。今でもハリケーンには女性名が付けられています。何故かは分かりません。

今年の18号台風も9月16日を中心に大被害をもたらしました。

前年の18号台風も9月15日には宇宙で大きなイベントがありました。1997年10月に打ち上げられてから20年、永く土星の観測を続けてきた「土星探査機カッシーニ」が任務を終えて土星本体の大気突入して華々しい最期を迎えました。

事務所：群馬県太田市飯田町584
〒373-0851 TEL. 0276 (46) 5400
FAX. 0276 (46) 5401
例会場：群馬県太田市飯塚町2056
ロイヤルチェスター太田
例会日時：毎週木曜日 12時30分

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長 大塩 孝
幹事 板橋 一博

クラブ 西川 宗克 大石 佳
会報委員会 小林 正知 別府 一彦
中島 明浩 安藤 浩之

委員会・部会報告

カッシーニがもたらした土星に関する新発見は太陽系の、あるいは大宇宙の起源探求に計りしれない成果をもたらしました。

2010年には「はやぶさ」が小惑星「イトカワ」に着陸して岩石のサンプルを持ち帰りましたが、それに匹敵する成果を上げたことと思います。

現在では高校教育はほぼ義務教育になっています。高校を終えてすぐに社会の一員になって活躍する人や、大学で学問を追及してから社会人になる人もいます。

しかしながら折角高校に入りながら諸々の事情で学業を断念せざるを得ない事例が多々発生しております。

太田ロータリークラブでは「太田奨学育英制度」を設けて毎年2名の高校生に対して資金援助を行っております。(今年度は3名ですが)

他の団体でも支援を行っているようですがまだまだ足りないのが現状です。

このような活動が県46クラブ全部で、あるいは他の奉仕団体にも拡がることを期待しております。

◆幹事報告

1. 報告事項

- (1) 本日、例会後理事会がありますので、理事の皆様は宜しくお願い致します。
- (2) 金山を美しくする会より、過日開催されました第64回「金山市民運動」への協力御礼が届きました。当日は2,300の方が参加され素晴らしい成果を上げたとの事です。

2. 他クラブの例会変更

分区内：新田RC

分区分外：伊勢崎東、伊勢崎南、藤岡北、碓氷安中、富岡、桐生西 各RC



《ニコニコ委員会》

○大塩 孝会長、板橋一博幹事

………… ガバナー合同公式訪問は無事、盛会の内に終了致しました。会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

《出席委員会》

○会員総数	73名	
○事前メーク	20名	} 53名
○本日の出席	33名	
○出席率	72.60%	

◆卓話

「高校教育改革の推進について」

・元群馬県教育委員会委員長 井上 恵津子 様



群馬県教育委員会では、社会の大きな変化や少子化の進行を踏まえ、本県の教育水準の維持・向上を図り、これからの時代を切り拓いていくことのできる人材を育成するため、高校教育改革推進計画を策定し、高校教育改革を推進しています。

・生徒急減と公立高校の小規模化

本県の中学校卒業生数は、平成元年をピークに、以後大幅に減少してきています。これに伴って公立高校全日制の1学年学級数は、平成元年度に506学級、1校平均7学級であったのが、

現在は 328 学級、1 校平均約 5 学級と、公立高校の小規模化が進んできています。

今後、中学校卒業生数は一段と減少し、平成 43 年には 1 万 5 千人を切る見込みであり、公立高校の更なる縮小が課題となっています。

これらを踏まえ、高校教育改革推進計画では、地域の住民の皆様と学校関係の皆様と県で懇談会等を開きながら特色ある高校教育と県立高校の再編整備を推進することとしています。

・県立高校の再編整備

学校規模の適正化

学校・学科等の適正な配置

男女共学の推進

・地区別再選整備

富岡・甘楽、吾妻、桐生・みどりの 3 地区では、中学校卒業見込者数の減少が著しいことから、公立高校の在り方について、地元関係者との懇談会や検討会を重ね、子供達のためにより良い教育環境を目指し、それぞれ再編整備計画を策定しました。

・学級減の今後の見通し

本県の中学校卒業生数は平成 30 年から県内全ての地区で大幅に減少し、平成 33 年は、平成 29 年度に比べて 2,100 人以上減少する見込みです。

これに伴い、公立高校全日制募集定員は、4 年間で 38 学級減程度を予定しています。

具体的な対応については、本県の教育水準の維持・向上を図る観点から、全県的に・長期的視野に立って検討・実施してまいります。

・高等学校等就学支援金制度とは

全ての意志ある高校生が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、授業料に充てる高等学校等就学支援金を生徒に支給し、家庭の教育費負担を国が支援する制度です。

社会全体の負担により学びが支えられていることを自覚し、将来、社会の担い手として広く活躍されることが期待されています。

(貸与型の奨学金ではありませんので、返済は不要です。)

・太田市の奨学金

太田市奨学金制度（貸与）

太田市笹川清奨学基金

(高校生 2 名 年額 /100,000 円 給付)

太田ロータリークラブ奨学資金

(高校生 2 名 年額 /180,000 円 給付)

ソニック・大雄建設奨学資金

(大学生・大学院生)

私の母校であります、太田女子高等学校同窓会みどり会におきましては『太女同窓会奨学金』を平成 28 年 4 月に立ち上げました。

現在、給付型で奨学金を受けている生徒は 7 名いるそうです。

今後とも子どもたちが安心して高校で学べるようにご理解ご協力をお願い申し上げます。



◆点鐘 & 「我等の生業」 斉唱